

老人保健の対象者

昭和7年9月30日以前に生まれたかた
65歳以上で一定の障害のあるかた

平成15年度の老人保健医療費は約291億円で、前年度より11億円増えました(グラフ1)。一人当たりになると年に75万7千円かかった計算となり、これは前年度より5万8千円増えています。

またその使われかたをみると、入院費用が医療費全体の5割以上を占めています(グラフ3)。

老人保健医療費は、自己負担分(1割または2割)以外の部分を、各種健康保険からの拠出金(支払基金や国、県、市の負担金(税金)などでまかなっています(グラフ2)。

老人保健医療費は、国民全体で支

問い合わせ

障害福祉課医療福祉室
老人・福祉医療担当
電話(866)2513
ファクス(863)6362

* 昭和7年10月1日以降に生まれた70歳以上のかたの医療費については、それぞれの加入している健康保険団体へお問い合わせください

秋田市の65歳以上の人口は6万人を超え、市民のほぼ5人に1人が高齢者と呼ばれる状況になってきました。

おもに70歳以上のかたが受給している老人保健医療制度の医療費も、年々増加し続けています。秋田市では、どのくらい医療費が使われているのかみてみましょう。

みんなで支える医療費 有効に使いましょ

秋田市の老人保健医療費は291億円



えているのです。医療費を有効に使うため、一人ひとりが、病気の予防や健康づくりに取り組み、次のことを心がけましょう。

病気の早期発見と早期治療を心がけましょう

かかりつけのお医者さんを持ちましょう

お医者さんを信頼し、指示をよく守り、同じ病気で複数のお医者さんにかかるのはやめましょう

薬は、お医者さんの指示どおり正しく服用しましょう

医療費の自己負担割合と1か月の自己負担限度額

区分	自己負担割合	自己負担限度額(1か月)	
		外来(個人ごと)	外来+入院(世帯ごと)
一定以上の所得のあるかた※1	2割	40,200円	72,300円+(医療費が月に361,500円を超えた場合はその超えた分の1%)
一般	1割	12,000円	40,200円
市民税非課税世帯のかた※2 市民税非課税で所得が一定以下の世帯のかた※3		8,000円	15,000円

- 1...老保該当者および同一世帯の70歳以上の高齢者で、市民税の課税標準額が124万円以上のかたが1人でもいる世帯のかた。ただし、70歳以上のかたが2人以上の世帯で年収637万円未満、単独世帯で年収450万円未満の場合は1割負担
- 2...世帯員全員が市民税非課税の世帯
- 3...所得が0円の世帯(例:年金収入のみの場合...単独世帯で年収約65万円以下、夫婦2人世帯では年収約130万円以下)

医療費が
たくさん
かかったら...



老人保健医療制度の高額医療費

老人保健医療制度では1か月の医療費の自己負担限度額が決められています(左表)。入院や通院で1か月に支払った医療費が自己負担限度額を超えた場合は、超えた額が、すでに提出していただいでいる「老人保健高額医療費支給申請書」でお届けの預金口座に、後日振り込まれます。障害福祉課に直接申請においている必要はありません。

ただし、入院に関しては医療費の支払いの負担を軽くするために、支払額が限度額を超えないしくみになっています。1か月の医療費(食事代、パジャマ代は除く)の支払いが入院のみであれば還付されません。

1か月の医療費は、病院・診療所・歯科の区別はなく、薬局での負担金も合算します。

健康 万歩計



このコーナーでは、みんなが健康で元気に過ごすために必要な、ドクターからのちょっとしたアドバイスを紹介します。



今月のドクター
えんざん
丸山啓司 先生
(市立秋田総合病院 救急治療室室長)

AEDで蘇れ、鼓動

一般市民の手で心臓に電気ショックが可能



AED

「AED」という言葉をご存知ですか？ これは自動体外式除細動器のことです。しかし、これでは何のことがわからないですね。

突然心臓が止まったとき、心臓はまだ細かいけいれんを起こしていることが多いのです。その時に電気ショック

(除細動)を与えると、心臓が再び動き出す可能性が高いのです。しかし、この心臓のけいれんは長くは続きませんので、電気ショックを与えるチャンスは心停止から数分間しかありません。一般に、心停止から電気ショックを開始するまでの時間が1分遅くなるごとに7～10%救命の可能性は低下します。つまり、救急隊の到着を待ってはいは遅すぎるのです。

そこで、そばにいる人が安全に、簡単に、より早く電気ショックを行える機械(AED)が開発されました。すでに世界各国で使用され、救命効果、安全性が確かめられています。日本でも昨年7月に一般市民が使用できるようになりました。

電源を入れると、AEDが次に何を行うか音声で指示し、その指示どおりに行っていけば、電気ショックを与えることができます。もちろん、電気ショックが必要かどうかの判断もAEDが行います。内部に心電図などの記録を保存していますので、あとでそのとき何が起こっていたか確認することもできます。

アルヴェと秋田空港に設置されています

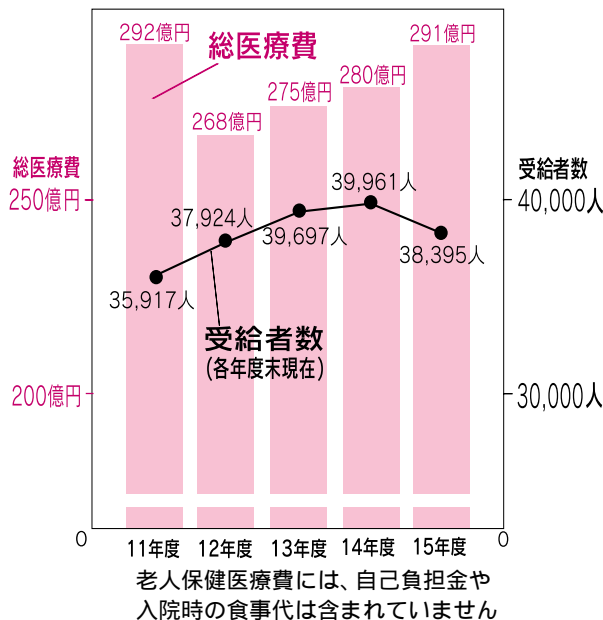
秋田市では年間200人以上のかたが突然の心停止で病院に救急搬送されています。現在、AEDはアルヴェ、秋田空港に各1台設置されているだけですが、今後消火器のようにいたるところに置かれ、いつでもだれでも近くにあるAEDを使って電気ショックや心肺蘇生法が実施できるのであれば、市民にとってこれほど心強いことはありません。

ラグビーの盛んな秋田！「ワンフォーオール、オールフォーワン」の精神を忘れることなく、かけがえのない命をみんなで守り、だれでも安心して生活できる社会にしていきましょう。

AED=Automated External Defibrillator

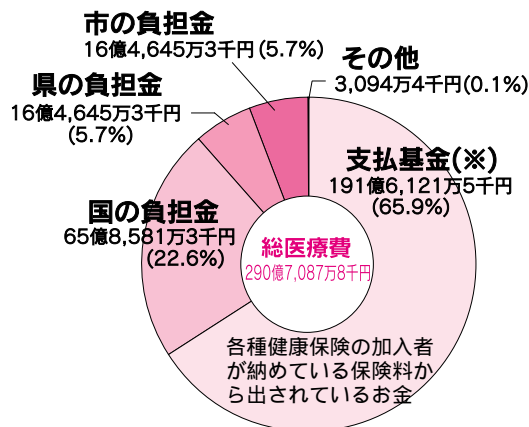
グラフ 1

老人保健医療の総医療費と受給者数



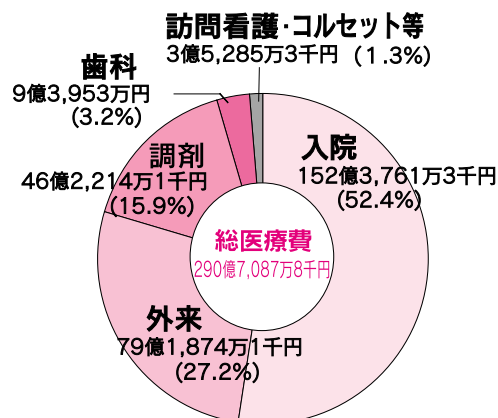
グラフ 2

平成15年度 老人保健医療費の負担割合



グラフ 3

平成15年度 老人保健医療費の使われ方



数値は合併前の秋田市分です。

お医者さんにかかるときは、健康保険証と老人保健の医療受給者証を必ず持っていきましょう